

2027 年度

青山学院大学

大学院学生募集要項

教育人間科学研究科

博士前期課程

教育学専攻

社会人入試(秋)・(春)

一般入試(秋)・(春)

学内進学者選抜試験(秋)・(春)

心理学専攻〔心理学コース〕

社会人入試

一般入試(秋)・(春)

学内進学者選抜試験(秋)・(春)

博士後期課程

教育学専攻

一般入試

心理学専攻

一般入試

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人にと仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

大学院の目的

青山学院大学大学院は、キリスト教精神に基づき、高度かつ専門的な学術の理論及び応用を研究、教授し、その深奥を究め、もって人と社会に奉仕し、文化の進展に寄与することを目的とする。

教育人間科学研究科の教育研究上の目的

(1) 教育学専攻では、青山学院大学（以下「本学」という。）教育人間科学部教育学科における教育の基礎の上に専門の学術を研究し、人間社会に関する深い学識と研究能力を養い、教育についての諸理論をはじめとする隣接諸科学の知を総合して、優れた教育者、養育者、研究者の人材育成を目的とする。特に博士前期課程においては、研究能力及び高度の専門性を要する職業等に必要能力を養うことを目的とし、博士後期課程においては、研究者として自立して研究活動を行うとともに、高度な専門職に必要な研究能力と資質、及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(2) 心理学専攻では、博士前期課程においては、心理学に関する専門家としての基礎的学識と研究能力を養成するとともに、倫理観の熟成を伴った専門的かつ実践的な知識・技能の獲得を支援し、社会への多様な貢献を図ることを目的として研究指導を行う。博士後期課程においては、心理学に関するいっそう高度の専門的な学術研究をし、研究の成果を国内外に発表するとともに学位論文を仕上げ、実践的素養をあわせ持つ優れた研究者として、国内外の大学、研究機関等で活躍できる人材を育成することを目的とする。

教育学専攻博士前期課程

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

知識・技能

- ・ 教育学の基礎知識を修得するとともに、学術的な研究もしくは専門的職能の追求を遂行する能力を備え、本専攻の教育課程および教育・研究の指導体制に従って学修と研究を進めて、それぞれの修学目的を達成する見込みのある者。

思考力・判断力・表現力

- ・ 本専攻が目的とする専門性を備えた優れた研究者、教育者、養育者の人材養成を実現する見込みのある者。

意欲・関心・態度

- ・ 学術的な研究もしくは専門的職能の追求を遂行する基本姿勢を備え、教育学に関する研究の進展あるいは教育学ならびに隣接諸科学を基盤とする専門的実践者としての熟達を通して、社会に貢献することを目的とする者。

合否判定の方法および基準

筆記試験においては、本専攻博士前期課程の教育課程および教育・研究の指導体制に従って修学目的を達成するのに必要な教育学の基礎知識、英語力、思考力および論述力について主に評価・判定する。また面接において、学術的な研究もしくは専門的職能の追求を遂行する基本姿勢を備え、研究計画の準備ができていることを確認したうえで、総合的に評価・判定する。

教育学専攻博士後期課程

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

知識・技能

- ・ 大学院博士前期課程もしくは修士課程修了相当の教育学の知識や技能を修得しており、学術的な研究もしくは専門的職能の追求を主体的に遂行する能力を備え、本専攻の教育課程および教育・研究の指導体制に従って学修と研究を進めて、それぞれの修学目的を達成する見込みのある者。

思考力・判断力・表現力

- ・ 本専攻が目的とする高度な専門性を備えた優れた研究者、教育者、養育者の人材養成を実現する見込みのある者。

意欲・関心・態度

- ・ 学術的な研究もしくは専門的職能の追求を主体的に遂行する基本姿勢を備え、教育学あるいは教育学ならびに隣接諸科学に関する高度な研究の進展もしくはそれらを基盤とする高度な専門的実践者としての熟達を通して、社会に積極的に貢献することを目的とする者。

合否判定の方法および基準

筆記試験においては、本専攻博士後期課程の教育課程および教育・研究の指導体制に従って修学目的を達成するのに必要な教育学の知識、高度な英語力を主に評価・判定し、修士論文審査においては本専攻の学位論文等審査基準（『大学院要覧』参照）に基づき評価する。また面接において、学術的な研究もしくは専門的職能の追求を主体的に遂行する基本姿勢を備え、研究計画の準備が十分にできていることを確認したうえで、総合的に評価・判定する。

心理学専攻博士前期課程

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

知識・技能

- ・ 心理学研究に不可欠な、専門的基礎知識、語学力を身につけている。

思考力・判断力・表現力

- ・ 心理学研究遂行に必要な倫理的判断力、思考力および表現力を身につけている。

意欲・関心・態度

- ・ 心理学に関する専門家として社会へ貢献する目標を持っている。
- ・ 本専攻の教育課程および教育・研究の指導体制に従って学術的研究を進め、それぞれの修学目的を達成する見込みがある。
- ・ 他者と協同して教育・研究・実践にあたる。

合否判定の方法および基準

入学志願者が本専攻での学修において求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度等を有しているかを、出願時の提出書類および筆記試験・面接試験の結果から、総合的に評価・判定する。

心理学専攻博士後期課程

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

知識・技能

- ・ 心理学研究に不可欠な、専門的基礎知識、豊かな語学力を身につけている。

思考力・判断力・表現力

- ・ 心理学研究遂行に必要な倫理的判断力、思考力および表現力を身につけ、研究論文や実践に反映している。

意欲・関心・態度

- ・ 心理学に関する専門家として社会へ貢献する目標をさらに高い目標へと改変している。
- ・ 本専攻の教育課程および教育・研究の指導体制に従って学術の研究を進め、それぞれの修学目的を達成する見込みがある。
- ・ 他者と協同して教育・研究・実践にあたってきた実績をさらに発展できる。

合否判定の方法および基準

入学志願者が本専攻での学修において求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度等を有しているかを、出願時の提出書類および筆記試験・面接試験の結果から、総合的に評価・判定する。

- 教育人間科学研究科および各専攻のディプロマポリシー（修了認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）は以下の本学ホームページにてご確認ください。

<https://www.aoyama.ac.jp/faculty/ephs/>

目 次

青山学院教育方針、青山学院大学の理念、大学院の目的、 教育人間科学研究科の教育研究上の目的	1
--	---

教育学専攻 博士前期課程 博士後期課程のアドミッションポリシー、合否判定の方法および基準 心理学専攻 博士前期課程 博士後期課程のアドミッションポリシー、合否判定の方法および基準	2
---	---

目次	4
----------	---

沿革、役職員、学位	5
-----------------	---

一般的注意事項、授業実施キャンパス、授業時間について	6
----------------------------------	---

教育人間科学研究科《入試共通事項》

募集人員、出願手続、出願書類	7
入学検定料	9
コンビニ端末での入学検定料支払方法	10
クレジットカードでの検定料支払方法	11
願書受付期間、試験についての注意事項、試験実施日	12
合格発表についての注意事項、合格発表日、入学手続	13
「入学辞退願」の提出について	14
青山学院大学若手研究者育成奨学金	15
青山学院大学大学院特別給付奨学金	16
学費等	17
不正行為について.....	19

博士前期課程 教育学専攻

教員組織	20
＜社会人入試（秋）・（春）＞共通 出願資格	21
試験科目・試験時間割	22
＜一般入試（秋）・（春）＞共通 出願資格	23
試験科目・試験時間割	24
＜学内進学者選抜試験（秋）・（春）＞共通 出願資格、試験科目・試験時間割	25

博士前期課程 心理学専攻〔心理学コース〕

教員組織	26
＜社会人入試＞ 出願資格	27
試験科目・試験時間割	28
＜一般入試（秋）・（春）＞共通 出願資格	29
試験科目・試験時間割	30
＜学内進学者選抜試験（秋）・（春）＞共通 出願資格、試験科目・試験時間割	31

博士後期課程 教育学専攻

教員組織	33
＜一般入試＞ 出願資格、試験科目・試験時間割	34

博士後期課程 心理学専攻

教員組織	35
＜一般入試＞ 出願資格、試験科目・試験時間割	36

沿革

- 1958 年 4 月 文学研究科心理学専攻「修士課程」設置
- 1963 年 4 月 文学研究科教育学専攻「修士課程」及び「博士課程」設置
- 1974 年 4 月 文学研究科心理学専攻「博士課程」設置
- 1984 年 4 月 大学院学則を改正し、「修士課程」を「博士前期課程」に「博士課程」を「博士後期課程」に変更
- 1994 年 4 月 文学研究科教育学専攻博士前期課程及び心理学専攻博士前期課程に授業科目昼夜開講を実施
- 2009 年 4 月 文学研究科教育学専攻及び心理学専攻（各博士前期課程及び博士後期課程）を改組し、教育人間科学研究科（教育学専攻及び心理学専攻（各博士前期課程、博士後期課程））を設置

役職員

学 長	工学博士	稲 積 宏 誠
教育人間科学研究科長	修士(教育学)	野 末 俊比古
教育学専攻主任	博士(教育学)	山 本 珠 美
心理学専攻主任	博士(教育学)	坂 上 裕 子

学位

教育人間科学研究科

教育学専攻	修士（教育学）	博士（教育学）、博士（学術）
心理学専攻	修士（心理学）	博士（心理学）

一般的注意事項

二重学籍等

本学学生は、他大学大学院及び本学の他研究科又は他専攻、並びに他大学および本学の学部と併せて在学することはできない。ただし、特段の事情がある場合には、当該研究科教授会の議を経たのち、学長の承認を得てこれを許可することがある。

また、他大学大学院を修了又は修了見込の者は、成績証明書及び修了証明書又は修了見込証明書を提出のこと。

出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、入学試験の結果を無効とし、入学後であっても遡って入学の資格を取り消すことがあります。その場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。

1. 本大学院の授業は、青山キャンパスで実施します。
2. 教育学専攻ならびに心理学専攻それぞれ博士前期課程は昼夜開講制ですが、夜間や土曜日のみの履修では、本課程を修了することはできません。
3. 障がいや疾病、怪我などにより受験及び修学上の合理的配慮が必要な場合、「障がいのある学生の受入れ方針」に基づき、受験時に合理的配慮を提供します。合理的配慮を希望する方は、出願期間前に学務部教務課教育人間科学研究科担当に問い合わせてください。なお、場合によっては健康診断書等の提出を求めることがあります。
4. 本大学院では既に他の大学院で修得した単位を本学の単位として認定する制度がありますので、希望者は申し出てください(ただし、入学年度の4月初頭に限りです)。
5. 卒業見込みで出願していた者で、2027年3月末日までに卒業できなかった場合は、入学資格を満たせなかったこととなりますので、入学手続を完了していても本大学院に入学することはできません。
6. 受験、入学手続などに関する問い合わせは、学務部教務課教育人間科学部大学院事務[直通 03 (3409) 9528]にしてください。ただし、可否に関する問い合わせには一切応じません。
7. 博士前期課程教育学専攻は、専修免許状〔幼稚園・小学校・中学校(国語・社会・英語)・高等学校(国語・地理歴史・公民・英語)〕の課程の認定を受けています。
8. 教育職員免許状や各種資格(司書教諭、司書、社会教育主事、学芸員)の取得に関する不明点については、出願前に教職支援センター[直通電話 03 (3409) 9634]に問い合わせてください。
9. 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験者への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。
10. 年末年始期間(2026年12月23日～2027年1月7日)は、出願に関する各種問い合わせについては対応できませんのでご注意ください。
11. 入学試験に関するお知らせは以下本学大学ホームページにてお知らせいたします。
<http://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/>

授業実施キャンパス

授業は、青山キャンパス(東京都渋谷区渋谷4-4-25)で実施します。

授業時間(授業科目配置時間帯)について

時 限	第1時限	礼拝	第2時限	昼休み	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限	第7時限*
時 間	9:00 ～ 10:30	10:30 ～ 11:00	11:00 ～ 12:30	12:30 ～ 13:20	13:20 ～ 14:50	15:05 ～ 16:35	16:50 ～ 18:20	18:30 ～ 20:00	20:10 ～ 21:40

*教育学専攻のみ

2027年度 教育人間科学研究科 学生募集要項

《入試共通事項》

募集人員

博士前期課程

教育学専攻 6名*

*＜社会人入試(秋)・(春)＞および＜一般入試(秋)・(春)＞、＜学内進学者選抜試験(秋)・(春)＞を含む

心理学専攻〔心理学コース・臨床心理学コース〕を合わせて 6名*

*＜社会人入試＞および＜一般入試(秋)・(春)＞、＜学内進学者選抜試験(秋)・(春)＞を含む

博士後期課程

教育学専攻 2名

心理学専攻 2名

出願手続

1. 出願は、**すべて郵送受付とします。**
出願の際は、出願書類および入学検定料の振込通知書を封筒に入れ、本学所定の出願用封筒表紙を封筒に貼付のうえ、郵便局窓口で簡易書留・速達郵便扱いの手続きをして郵送してください。
2. 出願受付後、受験票を本人宛にお送りいたします。
受付事務・郵便事情等により受験票の返送が多少遅れることがあります。なお、入学試験日の3日前までに受験票が未着の場合は学務部教務課教育人間科学部大学院事務に問い合わせてください。
3. **一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。**
4. 書類・入学検定料不備のものおよび受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
5. 国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、出願期間中に授業料納付猶予手続きを行ってください。詳細は18ページ掲載の申請要項のURLもしくはQRコードをご参照ください。※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）及び博士後期課程を志願する方は申請対象外です。

出願書類

1. 入学志願票(カラー写真貼付) 本学所定用紙<様式①>-1、<様式①>-2* *志願者自身が作成した文章で提出してください。人工知能等が自動作成した文章や他者が作成した文章での提出を禁じます。
2. 受験票・写真票・宛名ラベル用紙 (本学所定用紙)
必要事項を記入のうえ受験票・写真票・宛名ラベル用紙をそれぞれ切り取り線で切り離して提出してください。
宛名ラベル用紙には送付先住所・氏名・志願研究科・専攻を明記してください。(受験番号は記入不要) 受験票送付および合格者受験番号一覧送付時、この宛名ラベル用紙を使用して郵送します。
3. カラー写真2枚(縦4cm×横3cm、入学志願票および写真票に貼付) ※裏面には、氏名を明記のこと。
入学手続の際に別途提出する学生証用の写真も、出願時と同じ写真を提出してください。
4. 入学検定料の「収納証明書」
コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの支払いの際に発行される「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」を、貼付用紙(本学所定用紙)に貼り付け提出してください。

5. (博士前期課程に出願の場合) 出身大学の ①卒業(見込)証明書* ②成績証明書*
 * (本学出身者の場合は学務部教務課で代理発行する為、提出は不要です。)
 (博士後期課程に出願の場合) 大学院(修士・博士前期課程)の ①修了(見込)証明書* ②成績証明書*
注: 入学志願票の学歴欄に他の博士・博士後期課程の学歴(中途・満期退学も含む)を記載した場合には、その(退学)証明書*と成績証明書*も提出すること。* (本学大学院出身者の場合は学務部教務課で代理発行する為、提出は不要です。)
 ・ 証明書原本を提出してください。(コピー不可)
 ・ 出身大学に編入学した者や単位認定を受けた者は、以前の大学、短期大学の卒業証明書および成績証明書も提出してください。
 ・ 改姓等により、証明書記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、志願者にかかわる証明書として確認できませんので、氏名変更(改姓等)の事実が確認できる証明書(戸籍抄本等)を提出してください。
 ・ 証明書が日本語または英語でない場合は、公的機関による証明を受けた日本語または英語の訳文を付してください。
 ・ 出身大学の卒業(見込)証明書及び成績証明、学位取得証明書の提出の代わりに CHSI 発行の認証書の提出も認めます。出願書類には印刷した認証書を同封し、かつ電子データの認証書が出願期間内に CHSI から教育人間科学研究科メールアドレス(in-kyouiku@aoyamagakuin.jp)に電子メールで直送されるよう、手配してください。印刷した認証書のみの提出や、志願者等による電子メールの転送は出願書類として認められません。
6. 大学改革支援・学位授与機構に学位を申請して学位を取得した者または学位取得見込みの者は、次の証明書を提出してください。(該当者のみ)
 出身校の修了(見込)証明書、成績証明書、学位取得証明書または学位申請にかかわる証明書。
7. 外国籍者は、以下①②のいずれかを提出してください。
 ①住民票(在留資格、在留期間等、在留期間等の満了の日、在留カード等の番号が記載されたもの)
 ②パスポート(顔写真ページ)のコピーおよび在留カード(表裏)のコピー
 * 日本に在住していない者については、パスポート(顔写真ページ)のコピーのみ提出で可。
 その際に、パスポートのコピーに被らない場所に「日本に在住していない」と記載してください。
8. 研究計画書 ※志願者自身が作成した文章で提出してください。
 人工知能等が自動作成した文章や他者が作成した文章での提出を禁じます。
 教育学専攻 博士前期課程<社会人入試・一般入試・学内進学者選抜試験>: 本学所定用紙<様式②>-1、<様式②>-2を使用してください。
 心理学専攻 博士前期課程<社会人入試・一般入試・学内進学者選抜試験>: 本学所定用紙<様式③>を使用してください。
 教育学専攻 博士後期課程<一般入試>: 本学所定用紙<様式②>-1、<様式②>-2を使用してください。
 心理学専攻 博士後期課程<一般入試>: 本学所定用紙<様式④>を使用してください。
9. 卒業論文(心理学専攻志願者で分野を問わず、卒業論文を書いた者のみ提出)*
 *返却しないので、必ずコピーしたものを同封してください。ただし、本学所定の封筒に入らない場合は、卒業論文のみ別送してください。(本学教育学科および心理学科出身者は、提出不要)
10. 修士論文(博士後期課程志願者のみ提出)**
 **返却しないので、必ずコピーしたものを3部、他の出願書類とは別に送付してください。
 **教育学専攻志願者は、論文要旨も3部、修士論文とともに提出してください。なお、修士論文以外に博士後期課程での研究計画に係る論文等がある場合には、それも1部提出してください。
 (本学大学院博士前期課程出身者が同一専攻の博士後期課程に出願する場合は、提出不要)
11. 外国人留学生は、以下①②のいずれかを提出すること。ただし、日本の大学・大学院を卒業/修了(見込)の者は提出不要。
 ①日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施している「日本語能力試験」の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」の原本。2025年7月以降実施分のみ有効。***
 ***①の返却を希望する方は、レターパックライト(送付先記入)を同封してください。
 ②日本学生支援機構が実施している「日本留学試験(日本語)」の「成績確認書」(コピー可)。
 2025年6月以降実施分のみ有効。

個人情報の取扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、電話番号、生年月日等の個人情報は、①出願受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続とこれに付随する業務を行うために利用します。

入学検定料 35,000円

1. 支払方法

コンビニエンスストアまたはクレジットカードでお支払いください。

10ページ「コンビニ端末での入学検定料支払方法」または、11ページ「クレジットカードでの検定料支払方法」を参照のうえ、お支払ください。

2. 収納証明書は、所定の用紙に貼付し、出願書類に同封してください。

なお、金額が訂正されたものや収納印がないものは無効です。

3. **出願受付後、入学検定料は返還いたしません。振り込んだが出願しなかった場合は、学務部教務課にて返金の手続をしてください。**

コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1
お申込み

セブンイレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブンイレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

↓

入学検定料等支払

LAWSON Loppi **MINISTOP Loppi**

<https://www.lawson.co.jp> <https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

↓

学び・教育・各種検定試験

↓

大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2
お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。

※お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
※お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
※すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。



取扱明細書

+

レシート

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	605円
	入学検定料が5万円以上	825円

3
出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の「**収納証明書**」部分を切り取り、入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお答えできません。

クレジットカードでの入学検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して入学検定料のお支払いが可能です。 VISA JCB 楽天カード 三井住友カード 三菱UFJニコス



PCで下記にアクセス

<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

インターネット申込、クレジットカード決済

1. トップページ	「申し込む」ボタンをクリック
2. 研究科選択	研究科を選択してください。
3. 入試選択	受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック
4. 留意事項	留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック
5. 基本情報入力	申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック
6. 申込内容確認	申込された情報を確認し、問題なければ「申込みする」ボタンをクリック
7. 受付番号確認	受付番号(12桁)を控え、「引き続き支払う」ボタンをクリック (登録されたメールアドレスにも通知されます。)
8. クレジットカード情報入力	支払に利用するクレジットカード番号(16桁)等必要な情報を入力し、「次へ」をクリック *お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。
9. 決済完了	完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。 *メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。

出願

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から郵送にて出願。



【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 入学検定料の他に、払込手数料(税込)が別途かかります。
払込手数料(税込):30,000円未満…手数料 664円、30,000円以上50,000円未満…手数料 1,041円、50,000円以上…手数料 1,163円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。

- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された入学検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの入学検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合わせ先」をご覧ください。
「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

願書受付期間（全て受付期間最終日消印有効です。期限を過ぎた消印のものは、受理しません。
海外からの郵送の場合は出願期間内に到着するようにお送りください。）

課 程	専 攻	入試種別	願書受付期間
博士前期	教 育 学	社会人(秋) 一般(秋) 学内進学者(秋)	2026年 9月1日（火）～ 3日（木）
		社会人(春) 一般(春) 学内進学者(春)	2027年 1月8日（金）～ 12日（火）
	心理学 (心理学コース)	社会人 一般(秋) 学内進学者(秋)	2026年8月20日（木）～ 25日（火）
		一般(春) 学内進学者(春)	2027年1月8日（金）～ 12日（火）
博士後期	教 育 学	一般	2027年1月8日（金）～ 12日（火）
	心 理 学		

試験についての注意事項

1. 試験は青山キャンパスで実施します。
2. 試験場は試験当日「大学院掲示板」（17号館2階）に掲示します。
3. 受験者は、試験開始10分前までに試験場に入室してください。筆記試験については、受験番号ラベルにより受験者ごとの着席位置が指定されていますので、自分の受験番号ラベルが貼付された位置に着席してください。
4. **試験開始から20分以上遅刻した者は、受験することができません。**
5. 筆記試験は、出願した専攻ごとに課されたすべての試験科目を受験してください。1科目でも欠席した場合は棄権とみなします。また、筆記試験を受験していない者は、面接（口述試験）を受験することはできません。
6. 試験当日は、受験票を必ずお持ちください。万一紛失した場合は、再発行しますので、学務部教務課教育人間科学研究科窓口へご連絡（試験当日は来室して）ください。

試験実施日

課 程	専 攻	入試種別	試験実施日
博士前期	教 育 学	社会人（秋） 一般(秋) 学内進学者(秋)	筆記・面接 2026年10月10日（土）
		社会人（春） 一般(春) 学内進学者(春)	筆記・面接 2027年 2月20日（土）
	心理学 (心理学コース)	社会人 一般(秋) 学内進学者(秋)	第1次 2026年 9月26日（土） 第2次 2026年10月3日（土）※
		一般(春) 学内進学者(春)	第1次 2027年 2月20日（土） 第2次 2027年 2月27日（土）※
博士後期	教 育 学	一般	筆記・面接 2027年 2月20日（土）
	心 理 学		第1次 2027年 2月20日（土） 第2次 2027年 2月27日（土）※

※なお、第2次試験は、第1次試験合格者のみ受験することができる。

合格発表についての注意事項

1. 合格発表は、大学ホームページおよび郵送により行います。郵送による合格発表は、合格発表日に速達郵便にて合格者受験番号一覧を合格者に発送することにより行います（不合格者への郵送での通知はございません）。
2. 合格者（心理学専攻については、第2次合格者）には、合格者受験番号一覧とともに入学手続書類を郵送します。

合格発表日

課 程	専 攻	入試種別	合格発表日
博士前期	教 育 学	社会人（秋） 一般（秋） 学内進学者（秋）	2026年10月16日（金）13：00
		社会人（春） 一般（春） 学内進学者（春）	2027年2月26日（金）13：00
	心理学 （心理学コース）	社会人 一般（秋） 学内進学者（秋）	第1次 2026年9月30日（水）16：00 第2次 2026年10月9日（金）13：00
		一般（春） 学内進学者（春）	第1次 2027年2月24日（水）16：00 第2次 2027年3月1日（月）13：00
	教 育 学	一般	2027年 2月26日（金）13：00
	心 理 学		第1次 2027年2月24日（水）16：00 第2次 2027年3月1日（月）13：00

入学手続 入学手続はすべて郵送となります。（締切日消印有効）

入学手続締切日：社会人・一般入試・学内進学者選抜試験（秋季実施分）

第1次入学手続締切日 **2026年11月13日（金）**

第2次入学手続締切日 **2027年3月5日（金）**

社会人・一般入試・学内進学者選抜試験（春季実施分）

入学手続締切日 **2027年3月5日（金）**

1. 合格者には、入学手続書類を郵送します。入学手続要項にしたがい、入学手続締切日までに手続を完了してください。
2. 入学手続（秋季入試）は、第1次入学手続と第2次入学手続に分かれています。第1次・第2次それぞれ所定の入学手続納入金を納め、それぞれ必要な書類を提出してください。第1次入学手続、第2次入学手続ともに完了しない場合、合格は無効となりますのでご注意ください。
3. 入学手続の詳細は合格者に送付される入学手続要項を参照してください。

「入学辞退願」の提出について

本大学院の入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学を辞退することになった場合、「入学辞退願」が2027年 3月31日(水) (消印有効)のものは、入学金を除く納入金を返還します。

(1) 「入学辞退願」用紙の請求先・提出先

青山学院大学 学務部教務課教育人間科学部大学院事務

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

電話 03-3409-9528

(2) 「入学辞退願」等の提出について

提出締切日時： 2027年 3月31日(水) 17時 (窓口閉室時間)

郵送の場合は簡易書留郵便で上記日時消印有効

提出書類： ①「入学辞退願」(本学所定用紙)、②「振込金受取書」

青山学院大学若手研究者育成奨学金(博士後期課程のみが対象)

青山学院大学若手研究者育成奨学金は、青山学院大学大学院において、博士後期課程又は一貫制博士課程に優秀な学生を受け入れ、又は若い人材の本大学院への進学意欲若しくは本大学院に在学する学生の学修意欲を増進させ、もって本大学院の活性化を促進し、高度な専門性と研究能力を備えた社会に貢献する若手研究者の育成に資することを目的とする給付奨学金の制度です。※貸与奨学金ではありません。

奨学金概要

奨学給付金額

年間授業料相当額

給付方法

各学年の学費納付時において、年間授業料相当額の納付を免除 ※学費一部負担あり

給付期間

博士後期課程の標準修業年限

一貫制博士課程の3年次～5年次（3年間）

申請期間

各研究科の出願受付期間に準ずる

申請方法

入学志願票の所定欄に記入

採用者の決定

選考結果の通知 入学試験合否発表時

申請資格

2027年度以降において次の（1）～（3）のすべての条件を満たしている者

（1） 次のいずれかの条件を満たす者

- イ 本大学院の博士後期課程に入学する者
- ロ 本大学院の一貫制博士課程の3年次に編入学する者
- ハ 本大学院の一貫制博士課程に在学する者で、3年次に進級するもの
- ニ 本大学院の博士後期課程又は一貫制博士課程の3年次以上に転学する者

（2） 奨学金の給付を受ける初年度の初日の前日において、満30歳未満である者

（3） 国費留学生でない者

※「青山学院大学経済支援給付奨学金」「青山学院万代基金給付奨学金」等、他の学内給付奨学金との併給は不可です。

以上

青山学院大学大学院特別給付奨学金

青山学院大学大学院特別給付奨学金は、青山学院大学大学院の活性化に向けて、大学院進学における金銭的負担の軽減を図り、本学学部生の本大学院への進学を促進することを目的とする給付奨学金の制度です。

※貸与奨学金ではありません。

奨学給付額

授業料年額の2分の1に相当する額が上限となる。

※給付額は入学後に決定されます（給付対象学生数により減額の場合あり）。

給付方法

入学時は入学手続き時に所定の学費等を納付し、入学後に奨学金を給付します。なお、1年次後期以降は原則として学費請求時において、奨学金相当額の納付を免除することにより給付予定。

給付期間

入学後2年間（休学による給付休止期間を含む）

申請期間

出願受付期間に準ずる

申請方法

入学志願票の所定欄に記入

採用者の決定

選考結果の通知 入学試験合格発表時

申請資格

奨学金の給付を受けることができる学生は、本大学院研究科（理工学研究科を除く）への学内進学を希望する青山学院大学の学部 に在学している者で、次に規定する全てを満たすものとする。

(1) 本大学院研究科の次のいずれかの課程への学内進学に係る被推薦資格を有する者であること。

イ 博士前期課程又は修士課程（修業年限が2年のものに限る。）

ロ 一貫制博士課程

ハ 専門職学位課程（修業年限が2年のものに限る。）

(2) 2026年4月1日において、当該基準日の属する年度の末日までに卒業する見込みが立つ者であること。

(3) 2026年5月1日において、在学する学科における成績上位者15パーセント以内の者であること。

※ 上記「申請資格（3）」の成績要件を満たしているか事前に確認を希望する場合は、出願期間前に余裕をもって、所属学部の教務課（学務課）窓口までお問い合わせください。

※ 本学及び学校法人青山学院における他の奨学金の給付を重複して受けることはできません。

※ 詳細は「青山学院大学大学院特別給付奨学金規則」に規定

学費等



2027 年度入学者学費等一覧（大学ウェブサイト）

以下大学ウェブサイト内、「大学院、専門職大学院入学者学費」を参照してください。

大学ウェブサイト：https://www.aoyama.ac.jp/life/expenses/battel_postgraduate/

入学手続納入金

（単位：円）

	教育学	心理学	備 考
入学手続納入金合計	601,500	620,000	（後期分学費等含まず）
初年度納入金合計	913,000	950,000	教育学：後期分学費等 311,500 円を含む 心理学：後期分学費等 330,000 円を含む

（消費税は課税されません）

社会人・一般入試・学内進学者選抜試験（秋季実施分）

第1次 入学手続納入金	290,000	290,000	入学申込金のみ （第1次入学手続時に納入された入学申込金は、 第2次入学手続時に入学金に振り替えます。）
第2次 入学手続納入金 （学費等分割納入方式）	311,500	330,000	通常の納入方式 （入学時納入金合計から第1次入学手続納入金を差し引いた金額） （後期分学費等は、入学後に納入）
第2次 入学手続納入金 （学費等一括納入方式）	623,000	660,000	後期分学費等を併せて納入希望の場合 （初年度納入金合計から第1次入学手続納入金を差し引いた金額）

社会人・一般入試・学内進学者選抜試験（春季実施分）

入学手続納入金 （学費等分割納入方式）	601,500	620,000	通常の納入方式 （後期分学費等は、入学後に納入）
入学手続納入金 （学費等一括納入方式）	913,000	950,000	前後期分学費等を一括で納入希望の場合

注1) 校友会費は、退学・除籍の場合には、校友会本部事務局に申請し返還をうけることができます。

注2) 博士前期課程教育学専攻の者で教育職員免許状（専修免許状）取得見込みで、東京都教育委員会への大学一括申請の手続および専修免許状取得見込証明書の発行手続を希望する場合は、手続を希望する年度に教職課程料として7,000円を納入してください（申請方法、納入時期等詳細については、入学後、「大学院要覧」にてご確認ください）。

備 考

1. 入学手続き時に後期分学費等を併せて納入することもできます。（通常は入学後に納入）
2. 今後、経済情勢に応じ、学費等の改定が行われた場合は、在学生にも改定後の学費等を適用することがあります。
3. 本学の学部及び大学院博士前期(修士)課程出身者については次のとおりとします。

①入学金

博士前期課程

本学の学部卒業（見込を含む）者ならびに本学大学院博士前期（修士）課程修了（見込を含む）者は、全額免除

博士後期課程

本学大学院博士前期（修士・専門職学位）課程修了（見込を含む）者は、全額免除

②校友会費

本学出身者は納入不要(学部卒業（見込を含む）者および大学院修了（見込を含む）者は、年度にかかわらず)

4. 授業料後払い制度について（博士前期課程のみ）

国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、以下QRコードまたはURLより申請要項を確認の上、出願期間中に必要な手続きをとってください。

※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は申請対象外です。

【申請要項URL】

https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2026/03/af_syougakukin_atobalai2027.pdf

【申請要項QRコード】



不正行為について

○出願書類に関する不正行為について

出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、当該年度の入学試験の結果を無効とします。また、入学後であってもこれらの不正が確認された場合には、遡って入学を取り消すことがあります。この場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。また、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

○試験時の不正行為について

試験時間中に下記に例示する行為を行った場合、または試験終了後に当該行為が確認された場合（入学後に判明した場合を含む）には、不正行為とみなされることがあります。また、試験時間中であっても、メガネ、マスク等の身に着けている物の確認を求める場合があります。

不正行為が確認された場合には、当該年度の入学試験の結果を無効とし、入学を取り消すことがあります（入学後においても遡って適用する場合を含む）。この場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用は一切返還いたしません。不正行為に対しては厳正に対処するとともに、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

（筆記試験）

- ・ カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、イヤホン、携帯音楽プレーヤー等を身に付けていること。
- ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、時計、携帯音楽プレーヤー等の音（着信、アラーム、振動音等）を鳴らすこと。
- ・ 試験時間中に、問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・ 試験時間中に、答えを教える等の他の受験者を利するような行為をすること。
- ・ 試験時間中に、使用が認められている用具以外を机に置くこと。
- ・ 試験開始の合図、もしくは試験監督者の試験開始の指示の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
- ・ 試験終了の合図、もしくは試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けたり、解答を続けていたりすること。
- ・ 試験終了後、解答用紙を提出しないこと。

（面接試験・口述試験）

- ・ 試験中に他の者と連絡をとりあうこと。
- ・ 試験の録画・録音をすること、およびそれらを SNS 等のインターネット上へ掲載すること。
- ・ 試験終了後に、これから当該試験を受験する他の受験者に試験の内容を伝えること。また、試験の内容を SNS 等のインターネット上へ掲載すること。

（共通）

- ・ 試験室において、試験監督者、係員等の指示に従わないこと。
- ・ 試験室において、他の受験者の迷惑となる行為および試験の運営の妨害となるような行為をすること。
- ・ 志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- ・ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

博士前期課程 教育学専攻

教 員 組 織

(2027年度予定)

◎教員組織は2027年度予定のものです。今後変更もあり得ることをご承知おきください。

氏名の前の○印は研究指導（Ⅰ～Ⅳ）担当教員

職 名	氏 名	担当科目	
教 授	○ 岩下 誠	イギリス教育史、アイルランド教育史、教育社会史	教育史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ、教育文献調査法Ⅰ
	○ 江口 潔	日本教育史、教育社会史	教育社会史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 小木曾一之	応用生理学、バイオメカニクス、体育科教育学	身体教育学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 北澤 武	教育工学、情報教育、科学教育	教育工学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ、教育実践調査法Ⅱ
	○ 小針 誠	教育社会学、教育社会史	教育社会学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 米田 英嗣	教育心理学、教育認知科学	教育認知研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 杉谷祐美子	高等教育論、教育社会学	高等教育研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 杉本 卓	情報教育論、言語学習論	学習メディア研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 野末俊比古	図書館情報学、情報教育論、情報メディア論	情報教育研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 長谷川祥子	国語科教育学	言語教育研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 平賀 伸夫	環境教育学、理科教育学、授業研究	環境教育研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 福元真由美	幼児教育学、保育史、保育カリキュラム論	保育学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 益川 弘如	認知科学、教育工学	認知的学習研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ 教育実践調査法Ⅰ（2026年度担当）
	○ 柳田 雅明	生涯学習論、成人教育論	生涯学習研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 山本 珠美	社会教育学、教育行政学	教育行政学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 山本 美紀	音楽学、芸術文化教育論、キリスト教文化	音楽教育研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
准教授	○ 北詰 裕子	教育哲学、教育思想史	教育思想研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 高櫻 綾子	幼児教育学、保育学	乳幼児臨床教育研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 庭井 史絵	図書館情報学、学校図書館	図書館教育研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 山下 暁子	美術教育、教育人間学	美術教育研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ 教育文献調査法Ⅱ（2026年度担当）
	○ 山本真知子	子ども家庭福祉学、幼児教育学、保育学	教育福祉学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ

○○研究Ⅰ・Ⅱと○○演習Ⅰ・Ⅱは、隔年開講を原則とする。

授業時間は、9：00～21：40までの間に7コマ配置される。（昼夜開講制）

博士前期課程
教育学専攻 <社会人入試(秋)・(春)>共通

出願資格

- I. 既に定職についている者。
 - II. 定職についていない者で、大学卒業後、5年を経過した者。
- ※ IあるいはIIの者で下記のいずれかに該当する者。
- 1. 大学を卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者。
 - 2. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2027年3月取得見込みの者。
 - 3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月修了見込みの者。
 - 4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月修了見込みの者。
 - 5. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2027年3月修了見込みの者。
 - 6. 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者。
 - 7. 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2027年3月修了見込みの者。
 - 8. 文部科学大臣の指定した者。
 - 9. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達したもの。
- (注意1) : 教員のメールアドレスは、問い合わせがあっても、原則として案内しておりません。
なお、出願にあたって指導希望教員に相談したり承諾を得たりする必要はありません。
- (注意2) : 上記9.により出願を希望する者は、学務部教務課教育人間科学部大学院事務に問い合わせのうえ、個別の入学資格審査申請に必要な書類を、入試(秋)の場合は2026年8月14日(金)、入試(春)の場合は、2026年12月4日(金)までに提出してください。
- (注意3) : 1. 研究計画書は、出願時に提出してください。ただし、入学後承認を受ければ変更は可能です。研究計画書については評価を行います。(本学所定用紙<様式②>-1、<様式②>-2を使用してください。)
2. 社会人入試で入学した者は、修士論文免除の特例を選択することができますが、その場合は、それに代わる課題研究論文を提出しなければなりません。

試験科目・試験時間割

筆記試験 論文（教育学に関するもの）
外国語（基礎的な教育関連の英文）英和辞書の使用を許可。電子辞書使用不可。
面接

秋季実施

2026年10月10日(土)	9:30 ～ 11:00	論文
	11:30 ～ 13:00	外国語
	15:00 ～	面接

春季実施

2027年2月20日(土)	9:30 ～ 11:00	論文
	11:30 ～ 13:00	外国語
	15:00 ～	面接

博士前期課程
教育学専攻 <一般入試(秋)・(春)>共通

出願資格

1. 大学を卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者。ただし、本学教育人間科学部教育学科を2027年3月卒業見込みの者は、一般入試ではなく、学内進学者選抜試験に出願すること。
2. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2027年3月取得見込みの者。
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月修了見込みの者。
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2027年3月修了見込みの者。
5. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2027年3月修了見込みの者。
6. 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者。
7. 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2027年3月修了見込みの者。
8. 文部科学大臣の指定した者。
9. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に22歳に達したものの。

(注意1) : 教員のメールアドレスは、問い合わせがあっても、原則として案内しておりません。

なお、出願にあたって指導希望教員に相談したり承諾を得たりする必要はありません。

(注意2) : 上記9.により出願を希望する者は、学務部教務課教育人間科学部大学院事務に問い合わせのうえ、個別の入学資格審査申請に必要な書類を入試(秋)の場合は2026年8月14日(金)、入試(春)の場合は、2026年12月4日(金)までに提出してください。

(注意3) : 研究計画書は、出願時に提出してください。ただし、入学後承認を受ければ変更は可能です。

研究計画書については評価を行います。(本学所定用紙<様式②>-1、<様式②>-2を使用してください。)

試験科目・試験時間割

筆記試験 論文（教育学に関するもの。なお、教育学に関する専門知識を問う問題を含む。）
外国語（基礎的な教育関連の英文）英和辞書の使用を許可。電子辞書使用不可。

面接

秋季実施

2026年10月10日(土)	9:30 ～ 11:00	論文
	11:30 ～ 13:00	外国語
	15:00 ～	面接

春季実施

2027年2月20日(土)	9:30 ～ 11:00	論文
	11:30 ～ 13:00	外国語
	15:00 ～	面接

博士前期課程
教育学専攻　〈学内進学者選抜試験(秋)・(春)〉 共通

出願資格

1. 本学教育学科を2027年3月卒業見込みの者。
 (注意1)：研究計画書は、出願時に提出すること。ただし、入学後承認を受ければ変更は可能である。
 　　　　　研究計画書については評価を行う(本学所定用紙〈様式②〉-1、〈様式②〉-2を使用すること。)
 (注意2)：応募者のうち、「青山学院大学大学院特別給付奨学金」の申請資格(16ページ参照)を満たす者は、「青山学院大学大学院特別給付奨学金」に申請することができる。申請資格にある成績要件を満たしているかについて事前に確認を希望する場合は、出願期間前に余裕をもって、教育人間科学部の教務課窓口まで問い合わせること。

試験科目・試験時間割

筆記試験　論文(教育学に関するもの。なお、教育学に関する専門知識を問う問題を含む。)
 　　　　　外国語(基礎的な教育関連の英文)英和辞書の使用を許可。電子辞書使用不可。

面　　接

秋季実施

2026年10月10日(土)	9:30 ～ 11:00	論　　文
	11:30 ～ 13:00	外　国　語
	15:00 ～	面　　接

春季実施

2027年2月20日(土)	9:30 ～ 11:00	論　　文
	11:30 ～ 13:00	外　国　語
	15:00 ～	面　　接

博士前期課程 心理学専攻 〔心理学コース〕

教 員 組 織 (2027年度予定)

◎教員組織は2027年度予定のものです。

◎〔心理学コース〕のカリキュラムは、公認心理師養成に対応していません。

氏名の前の○印は研究指導（Ⅰ～Ⅳ）担当教員

職 名	氏 名	研究指導教員の専門分野	担当科目
	○ 上田 琢哉	臨床心理学、教育相談学	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ
	○ 小俣 和義	臨床心理学、心理療法、心理査定	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ
	○ 坂上 裕子	発達心理学、臨床発達心理学	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、生涯発達心理学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 繁樹 江里	社会心理学、組織心理学、対人コミュニケーション	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、社会心理学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 松田いづみ	心理生理学、認知神経科学、犯罪心理学	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、生理心理学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 薬師神玲子	実験心理学、認知心理学、認知科学	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、認知心理学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
准教授	○ 沖潮満里子	臨床心理学、質的研究法	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、質的研究法演習
	○ 荻原 祐二	社会心理学、文化心理学、社会文化変容	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、心理測定統計論Ⅰ・Ⅱ
	○ 田中 里実	臨床心理学、臨床発達心理学、福祉心理学	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、障害者（児）心理学演習
	○ 森脇 愛子	発達心理学、臨床発達心理学	心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、発達臨床心理学研究A・B、同演習A・B、心の健康教育に関する理論と実践
特任准教授	畠中 智恵		心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ、臨床心理学特講Ⅰ・Ⅱ
助 教	長 大介		心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ
	横山 舜		心理学研究法演習Ⅰ～Ⅳ
兼任准教授	武田 美亜		応用社会心理学演習B
兼任講師	天井 響子		教育心理学演習A・B
	太田さつき		応用社会心理学演習A
	川瀬里加子		老年心理学演習

○○研究Ⅰ・Ⅱと○○演習Ⅰ・Ⅱは、隔年開講を原則とする。

授業時間は、9：00～20：00までの間に6コマ配置される。（昼夜開講制）

兼任准教授ならびに兼任講師は2026年度実績。授業科目のみ担当。

博士前期課程
心理学専攻〔心理学コース〕〈社会人入試〉

出願資格

出願時点で心理学関連の科目（統計法に関する科目および研究法に関する科目を必ず含む）について32単位以上修得済みの者で、次のいずれかに該当し、該当時より2年以上経過した者。

心理学関連の科目については、出願前に余裕をもって問い合わせること。科目名称の中に「心理学」もしくは「心理」が含まれているものは、心理学関連の科目とみなすが、その他の科目については、提出されたシラバスの内容を以て、心理学関連科目に該当するか否かを判断する。

1. 大学を卒業した者。
2. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者。
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者。
5. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月までに授与される見込みの者。
7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
8. 文部科学大臣の指定した者
9. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達したもの。

（注意1）：教員のメールアドレスは、問い合わせがあっても、原則として案内はしていない。また、出願にあたって、指導希望教員に相談したり承諾を得たりする必要はない。

（注意2）：上記9.により出願を希望する者は、学務部教務課教育人間科学部大学院事務に問い合わせのうえ、個別の入学資格審査申請に必要な書類を、2026年8月14日（火）までに提出すること。

（注意3）：出願時に必ずコースを記載すること。なお、**公認心理師・臨床心理士の資格取得を目指す者は、分冊版の〔臨床心理学コース〕を選択**すること。出願後のコースの変更は一切認めない。

（注意4）：研究計画書は出願時に提出すること（本学所定用紙＜様式③＞を使用）。様式③について、各項目の行数は任意に変更して構わないが、全体の分量は1頁以内に収めること。
研究計画書は合否判定の参考資料として評価を行う。なお、研究計画書の内容は、入学後、承認を受ければ変更可能である。

（注意5）：社会人入試で入学した者は、修士論文免除の特例を選択することができるが、その場合は、それに代わる課題研究論文を提出しなければならない。

試験科目・試験時間割

筆記試験 論述(心理) (心理学(統計を含む)に関する知識および論述)
 論文読解 (心理学関連の英語論文の読解)
 (注) 辞書の使用は認めない。

面 接

第1次試験			第2次試験		
2026年9月26日(土)	9:30 ～ 11:30	論述(心理)	2026年10月3日(土)	13:00 ～	面 接
	12:30 ～ 14:00	論文読解			

(注意) 第1次試験の合格発表は9月30日(水) 16:00に大学ホームページにて行うとともに、合格者に合格者受験番号一覧を郵送することにより行う。
 なお、**第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができる。**

2027年度入試における変更点

2027年度入試では、2026年度入試から試験科目等を以下のとおり変更する。

- (1) 「専門A」を廃止し、出願時に「研究計画書」の提出を求める。
- (2) 「専門B」を「論述(心理)」に変更する。

「論述(心理)」では、心理学(統計を含む)に関する専門用語や基礎的知識の理解を問う内容を含みつつ、それらをふまえて受験者自身が論理的に考察し、記述する力を評価する出題を行う。

博士前期課程
心理学専攻〔心理学コース〕〈一般入試(秋)・(春)〉共通

出願資格

出願時点で心理学関連の科目（統計法に関する科目および研究法に関する科目を必ず含む）について 32 単位以上修得済みの者で、次のいずれかに該当する者。

なお、心理学関連の科目については、出願前に余裕をもって問い合わせること。科目名称の中に「心理学」もしくは「心理」が含まれているものは、心理学関連の科目とみなすが、その他の科目については、提出されたシラバスの内容を以て、心理学関連科目に該当するか否かを判断する。

また、本学文学部心理学科もしくは教育人間科学部心理学科を 2026 年 3 月までに卒業した者は、心理学関連科目 32 単位以上を修得済みとみなす。

1. 大学を卒業した者及び 2027 年 3 月までに卒業見込みの者。ただし、本学教育人間科学部心理学科を 2027 年 3 月までに卒業見込みの者は、一般入試ではなく、学内進学者選抜試験に出願すること。
2. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに取得見込みの者。
3. 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年 3 月までに修了見込みの者。
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者。
5. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者。
6. 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに授与される見込みの者。
7. 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2027 年 3 月までに修了見込みの者。
8. 文部科学大臣の指定した者。
9. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 22 歳に達したもの。

(注意1)：教員のメールアドレスは、問い合わせがあっても、原則として案内はしていない。また、出願にあたって、指導希望教員に相談したり承諾を得たりする必要はない。

(注意2)：上記9.により出願を希望する者は、学務部教務課教育人間科学部大学院事務に問い合わせのうえ、個別の入学資格審査申請に必要な書類を入試(秋)の場合は2026年8月14日(火)、入試(春)の場合は、2026年12月4日(金)までに提出すること。

(注意3)：出願時に必ずコースを記載すること。なお、**公認心理師・臨床心理士の資格取得を目指す者は、分冊版の〔臨床心理学コース〕を選択**すること。出願後のコースの変更は一切認めない。

(注意4)：研究計画書は出願時に提出すること（本学所定用紙<様式③>を使用）。様式③について、各項目の行数は任意に変更して構わないが、全体の分量は1頁以内に収めること。研究計画書は合否判定の参考資料として評価を行う。なお、研究計画書の内容は、入学後、承認を受ければ変更可能である。

試験科目・試験時間割

筆記試験 論述(心理) (心理学(統計を含む)に関する知識および論述)
論文読解 (心理学関連の英語論文の読解)
(注) 辞書の使用は認めない。

面接

秋季実施

第1次試験			第2次試験		
2026年9月26日(土)	9:30 ~ 11:30	論述(心理)	2026年10月3日(土)	13:30 ~	面接
	12:30 ~ 14:00	論文読解			

(注意) 第1次試験の合格発表は9月30日(水) 16:00に大学ホームページにて行うとともに、合格者に合格者受験番号一覧を郵送することにより行う。

なお、**第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができる。**

春季実施

第1次試験			第2次試験		
2027年2月20日(土)	9:30 ~ 11:30	論述(心理)	2027年2月27日(土)	13:30 ~	面接
	12:30 ~ 14:00	論文読解			

(注意) 第1次試験の合格発表は2027年2月24日(水) 16:00に大学ホームページにて行うとともに、合格者に合格者受験番号一覧を郵送することにより行う。

なお、**第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができる。**

2027年度入試における変更点

2027年度入試では、2026年度入試から試験科目等を以下のとおり変更する。

- (1) 「専門A」を廃止し、出願時に「研究計画書」の提出を求める。
- (2) 「専門B」を「論述(心理)」に変更する。

「論述(心理)」では、心理学(統計を含む)に関する専門用語や基礎的知識の理解を問う内容を含みつつ、それらをふまえて受験者自身が論理的に考察し、記述する力を評価する出題を行う。

博士前期課程
心理学専攻〔心理学コース〕〈学内進学者選抜試験(秋)・(春)〉共通

出願資格

本学教育人間科学部心理学科を2027年3月までに卒業見込みの者。

- (注意1) : 出願時に必ずコースを記載すること。なお、**公認心理師・臨床心理士の資格取得を目指す者は、分冊版の〔臨床心理学コース〕を選択**すること。出願後のコースの変更は一切認めない。
- (注意2) : 応募者のうち、「青山学院大学大学院特別給付奨学金」の申請資格(16ページ参照)を満たす者は、「青山学院大学大学院特別給付奨学金」に申請することができる。申請資格にある成績要件を満たしているかについて事前に確認を希望する場合は、出願期間前に余裕をもって、教育人間科学部の教務課窓口まで問い合わせること。
- (注意3) : 研究計画書は出願時に提出すること(本学所定用紙様式③)を使用)。様式③について、各項目の行数は任意に変更して構わないが、全体の分量は1頁以内に収めること。
研究計画書は可否判定の参考資料として評価を行う。なお、研究計画書の内容は、入学後、承認を受ければ変更は可能である。

試験科目・試験時間割

筆記試験 論述(心理) (心理学(統計を含む)に関する知識および論述)
論文読解 (心理学関連の英語論文の読解)
(注) 辞書の使用は認めない。

面接

秋季実施

第1次試験			第2次試験		
2026年9月26日(土)	9:30 ~ 11:30	論述(心理)	2026年10月3日(土)	13:00 ~	面接
	12:30 ~ 14:00	論文読解			

(注意) 第1次試験の合格発表は9月30日(水) 16:00に大学ホームページにて行うとともに、合格者に合格者受験番号一覧を郵送することにより行う。
なお、**第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができる。**

春季実施

第1次試験			第2次試験		
2027年2月20日(土)	9:30 ~ 11:30	論述(心理)	2027年2月27日(土)	13:30 ~	面接
	12:30 ~ 14:00	論文読解			

(注意) 第1次試験の合格発表は2027年2月24日(水) 16:00に大学ホームページにて行うとともに、

合格者に合格者受験番号一覧を郵送することにより行う。

なお、**第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができる。**

2027年度入試における変更点

2027年度入試では、2026年度入試から試験科目等を以下のとおり変更する。

- (1) 「専門A」を廃止し、出願時に「研究計画書」の提出を求める。
- (2) 「専門B」を「論述（心理）」に変更する。

「論述（心理）」では、心理学（統計を含む）に関する専門用語や基礎的知識の理解を問う内容を含みつつ、それらをふまえて受験者自身が論理的に考察し、記述する力を評価する出題を行う。

博士後期課程 教育学専攻

教 員 組 織

(2027年度予定)

◎教員組織は2027年度予定のものです。今後変更もあり得ることをご承知おきください。

研究指導（V～X）担当教員

職名	氏名	研究指導教員の専門分野	担当科目
教授	岩下 誠	イギリス教育史、アイルランド教育史、教育社会史	教育史特別演習Ⅰ・Ⅱ
	江口 潔	日本教育史、教育社会史	教育社会史特別演習Ⅰ・Ⅱ
	小木曾 一之	応用生理学、バイオメカニクス、体育科教育学	身体教育学特別演習Ⅰ・Ⅱ
	北澤 武	教育工学、科学教育	教育工学特別演習Ⅰ・Ⅱ
	小針 誠	教育社会学、教育社会史	教育社会学特別演習Ⅰ・Ⅱ
	米田 英嗣	教育心理学、教育認知科学	教育認知特別演習Ⅰ・Ⅱ
	杉谷 祐美子	高等教育論、教育社会学	高等教育特別演習Ⅰ・Ⅱ
	杉本 卓	情報教育論、言語学習論	学習メディア特別演習Ⅰ・Ⅱ
	野末 俊比古	図書館情報学、情報教育論、情報メディア論	情報教育特別演習Ⅰ・Ⅱ
	長谷川 祥子	国語科教育学	言語教育特別演習Ⅰ・Ⅱ
	平賀 伸夫	環境教育学、理科教育学、授業研究	環境教育特別演習Ⅰ・Ⅱ
	福元 真由美	幼児教育学、保育史、保育カリキュラム論	保育学特別演習Ⅰ・Ⅱ
	益川 弘如	認知科学、教育工学	認知的学習特別演習Ⅰ・Ⅱ
	柳田 雅明	生涯学習論、成人教育論	生涯学習特別演習Ⅰ・Ⅱ
	山本 珠美	社会教育学、教育行政学	教育行政学特別演習Ⅰ・Ⅱ
	山本 美紀	音楽学、芸術文化教育論、キリスト教文化	音楽教育特別演習Ⅰ・Ⅱ

**博士後期課程
教育学専攻 〈一般入試〉**

出願資格

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2027年3月取得見込みの者。
 2. 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月取得見込みの者。
 3. 文部科学大臣の指定した者。
 4. 日本において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月取得見込みの者。
 5. 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に24歳に達したもの。
- (注意1) : 出願に関して、あらかじめ指導を希望する教員の承認を得た者。
- (注意2) : 上記5.により出願を希望する者は、学務部教務課教育人間科学部大学院事務に問い合わせのうえ、個別の入学資格審査申請に必要な書類を、2026年12月4日(金)までに提出してください。
- (注意3) : 研究計画書は、出願時に提出してください。ただし、入学後承認を受ければ変更は可能です。
- 研究計画書については合否判定の資料とします。(本学所定用紙<様式②>-1、<様式②>-2を使用してください。)

試験科目・試験時間割

筆記試験

外国語 (教育関連の英文) 英和辞書の使用を許可。電子辞書使用不可。

修士論文審査 (論文要旨も3部提出すること。7～8ページ参照)

面接

2027年2月20日(土)	9:30 ～ 11:00	外国語
	13:00 ～	面接

博士後期課程 心理学専攻

教 員 組 織

(2027年度予定)

◎教員組織は2027年度予定のものです。今後変更もあり得ることをご承知おきください。

氏名の前の○印は研究指導（V～X）担当教員

職 名	氏 名	研究指導教員の専門分野	担当科目
	○ 上田 琢哉	臨床心理学、教育相談学	心理学研究法特別演習Ⅰ～Ⅳ
	○ 小俣 和義	臨床心理学、心理療法、心理査定学	心理学研究法特別演習Ⅰ～Ⅳ
	○ 坂上 裕子	発達心理学、臨床発達心理学	心理学研究法特別演習Ⅰ～Ⅳ
	○ 繁桝 江里	社会心理学、組織心理学、対人コミュニケーション	心理学研究法特別演習Ⅰ～Ⅳ
	○ 松田いづみ	心理生理学、認知神経科学、犯罪心理学	心理学研究法特別演習Ⅰ～Ⅳ
	○ 薬師神玲子	実験心理学、認知心理学、認知科学	心理学研究法特別演習Ⅰ～Ⅳ
准教授		沖潮満里子	心理学研究法特別演習Ⅰ～Ⅳ
		荻原 祐二	心理学研究法特別演習Ⅰ～Ⅳ
		田中 里実	心理学研究法特別演習Ⅰ～Ⅳ
		森脇 愛子	心理学研究法特別演習Ⅰ～Ⅳ
特任准教授		畠中 智恵	心理学研究法特別演習Ⅰ～Ⅳ
助 教		長 大介	心理学研究法特別演習Ⅰ～Ⅳ
		横山 舜	心理学研究法特別演習Ⅰ～Ⅳ

准教授・助教は授業科目のみ担当。

**博士後期課程
心理学専攻 〈一般入試〉**

出願資格

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2027年3月取得見込みの者。
2. 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月取得見込みの者。
3. 文部科学大臣の指定した者。
4. 日本において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月取得見込みの者。
5. 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に24歳に達したものの。

(注意1)：出願に関して、あらかじめ指導を希望する教員の承認を得た者。

(注意2)：上記5.により出願を希望する者は、学務部教務課教育人間科学部大学院事務に問い合わせのうえ、個別の入学資格審査申請に必要な書類を、2026年12月4日(金)までに提出してください。

(注意3)：研究計画書は出願時に提出すること(本学所定用紙<様式④>を使用)。様式④について、各項目の行数は任意に変更して構わないが、全体の分量は2頁以内とする。
研究計画書は合否判定の参考資料として評価を行う。なお、研究計画書の内容は、入学後、承認を受ければ変更可能である。

試験科目・試験時間割

筆記試験

論文読解(心理学関連の英語論文の読解)

英作文または統計学(いずれか1つを選択し、志願票・受験票・写真票の所定欄に明記のこと)

(注)辞書の使用は認めない。

修士論文審査(7～8ページ参照)

面接

本学心理学専攻博士前期課程修了者(修了予定者を含む)以外の受験生については、修士論文の要旨のプレゼンテーション(10分間)を行う。

第1次試験			第2次試験		
2027年2月20日(土)	9:30 ～ 11:00	論文読解	2027年2月27日(土)	13:00 ～	面接
	11:30 ～ 13:00	英作文または統計学			

(注意) 第1次試験の合格発表は2027年2月24日(水) 16:00に大学ホームページにて行うとともに、受験者に合格者受験番号一覧を郵送することにより行う。

なお、**第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができる。**

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World
【青山学院スクール・モットー】

青山学院大学大学院
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
電話：03（3409）9528（学務部教務課教育人間科学部大学院事務直通）

青山学院大学大学院入学志願票

＜様式①＞-1

入学試験種別（該当する入学試験種別を○で囲む）		受験番号	※記入不要	
一般入試 ・ 社会人入試 ・ 学内進学者選抜試験				
課程（該当する課程を○で囲む） ・ 研究科 ・ 専攻 ・ コース		選択受験科目		
博士前期 ・ 博士後期＊ 課 程		＊(心理学専攻博士後期課程のみ)		
教育人間科学 研究科		青山学院大学大学院特別給付奨学金(学内進学者選抜試験のみ)		
		給付を希望	(どちらかを○で囲む) する ・ しない	
専 攻		＊ 若手研究者育成奨学金(博士後期課程のみ)		
心理学専攻 博士前期課程は記入		コース	給付を希望	(どちらかを○で囲む) する ・ しない
フリガナ _____	性別	本籍地		写真貼付 1. 4×3cm枠なし 2. 上半身正面脱帽 3. 最近3カ月以内 撮影のもの 4. 全面糊付け 5. 裏面に氏名記入 6. カラー写真
氏 名				
生年月日(西暦) 年 月 日 (歳)		都・道・府・県 (外国籍の場合は国籍を記入)		
現住所 〒 _____				
		電話番号 ()		
メールアドレス @		携帯電話番号 ()		
学歴（高等学校以降のすべての学歴を記入すること）				
(西暦) 高等学校 年 月 卒業				
大学 学部 学科 年 月 入学				
大学 学部 学科 年 月 卒業・卒業見込				
職歴（非常勤・アルバイト・嘱託等は、記入の必要はない）				
(西暦) 年 月 ～ 年 月 退職・在職				
年 月 ～ 年 月 退職・在職				
本学出身者は必ず下欄を記入してください。				
学生番号			演習担当者 又は指導教員	
以下は、外国人留学生のみ記入して下さい(ただし、日本の大学・大学院を卒業/修了(見込)の者を除く)。				
試験名	受験した年月		得点	
日本語能力試験(N1)	年 月		総合得点:	
日本留学試験(日本語)	年 月	読解、聴解・聴読解:		
		記述:		

〈様式①〉-2 ②下記すべての項目について必ず記入すること。(但し、論文を書いていない場合は題目の記入不要。)

※ 志願者自身が作成した文章で提出してください。人工知能等が自動作成した文章や他者が作成した文章での提出を禁じます。

卒業論文題目	
修士論文等題目	
学部における主な研究内容	
研究科における研究内容(博士後期課程志願者のみ記入)	
入学後の研究主題及び研究計画の概要	
研究指導を希望する教員名(要項に記載された教員1名を記入)	
修了後の進路希望(具体的に記入すること)	

2027年度 青山学院大学大学院 受験票

課 程	博士前期課程	博士後期課程
種 別	一般入試 ・ 社会人入試 ・ 学内進学者選抜試験	一般入試
研究科	教育人間科学研究科	
専 攻		
* 通信欄		

受験番号	*
フリガナ	
氏 名	

筆記試験の場合

1. 試験開始10分前までに試験場に入室すること。
（筆記試験の時間は入学試験要項で確認してください）
2. 受験中は本票を机上に置くこと。

* 受付印

* 印のある欄は事務使用欄のため、記入しないでください。

2027年度 青山学院大学大学院 写真票

写真貼付欄

- 1. 4X3cm 枠なしカラー写真
- 2. 正面・脱帽のもの
- 3. 最近3か月以内に撮影のもの
- 4. 写真の裏面に専攻と氏名を記入のこと
- 5. 全面糊付けのこと

受験番号
*

*記入不要

フリガナ
氏名

研究科	教育人間科学	研究科
専攻		専攻
課程	博士前期・博士後期	
選択受験科目		

試験種別	社会人・一般 ・学内進学
------	-----------------

大学院 使用欄	*
------------	---

*記入不要

--	--	--	--	--	--	--

(住所)

(氏名) 様

研究科	専攻
教育人間科学	専攻

--	--	--	--	--	--	--

(住所)

(氏名) 様

研究科	専攻
教育人間科学	専攻

宛名ラベル用紙(1)

--	--	--	--	--	--	--

(住所)

(氏名) 様

研究科	専攻
教育人間科学	専攻

宛名ラベル用紙(3)…心理学専攻志願者のみ

- 1) 写真票には写真(タテ4cm×ヨコ3cm)を貼付のうえ、宛名ラベル用紙と切り離して提出してください。
- 2) 宛名記入ラベル用紙(1), (2), (3)は受験票および合否発表送付用です。
- 送付先住所を記入のうえ、2枚(心理学専攻志願者は3枚)を切り離して提出してください。

貼付用紙

【入学検定料】

研 究 科						専 攻	専攻	
受験番号 (記入不要)						課 程 ○で囲む	博士前期 ・ 博士後期	
フリガナ						連絡先	()	
氏 名								

*記入上の注意：①所定の記入スペース内に収まるように記入すること。

②手書きの場合はボールペンまたはペン書きとする。(色は黒または青)

③本様式をダウンロードして記入することも可。書式の変更は認めない。

※ 志願者自身が作成した文章で提出してください。人工知能等が自動作成した文章や他者が作成した文章での提出を禁じます。

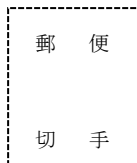
2027 年度

課程・種別 (○で囲む)	博士前期課程 (社会人・一般・学内進学者)	フリガナ	
	博士後期課程 (一般入試)	氏 名	
出身校および 出身学部・学科 (研究科・専攻)	大学 学部 学科 大学院 研究科 専攻		
	年 月 卒業 ・ 卒業見込 ・ 修了 ・ 修了見込 (○で囲む)		
研究指導を 希望する教員名			

[illegible]

◆前記の概要または研究関心を大学院入学後どのように具体的に展開するかについて、その研究対象と研究方法、および分析の視点などについて、それぞれ関連づけて、具体的に述べなさい。

◆あなたの研究テーマに関する代表的な先行研究を数点挙げ、それとあなたの研究計画との関係について説明しなさい。



150-8366

東京都渋谷区渋谷 4 - 4 - 2 5

青山学院大学 学務部教務課
大学院入試願書受付係 御中

(大学院入学試験・出願書類在中)

出願期間中の消印有効

簡易書留
速 達

(二つ折厳禁)

フリガナ			
氏 名			
住 所	□□□-□□□□ TEL. ()		
研究科・専攻 ・コース	教育人間科学研究科	専攻	コース
課 程	博士前期課程 ・ 博士後期課程		
入試種別	社会人入試 ・ 一般入試 ・ 学内進学者選抜試験		

※ 課程・入試種別:該当するものを○で囲んでください

(2027 年度入試用 青山学院大学大学院)